

2026 年度（令和 8 年度）

マガレイの漁況予測

（道北日本海～オホーツク海）

令和 8 年（2026 年）2 月 12 日
(地独) 北海道立総合研究機構
稚内水産試験場
道総研
網走水産試験場
(協力機関：中央水産試験場)

日本海（冬漁）

2026 年 10～翌 2 月

3～5 歳魚主体

漁獲量は前年から**横ばい**

日本海（春漁）

2026 年 3～6 月

3～6 歳魚主体

漁獲量は前年から**横ばい**

オホーツク海（夏漁）

2026 年 5～8 月

4～5 歳魚主体

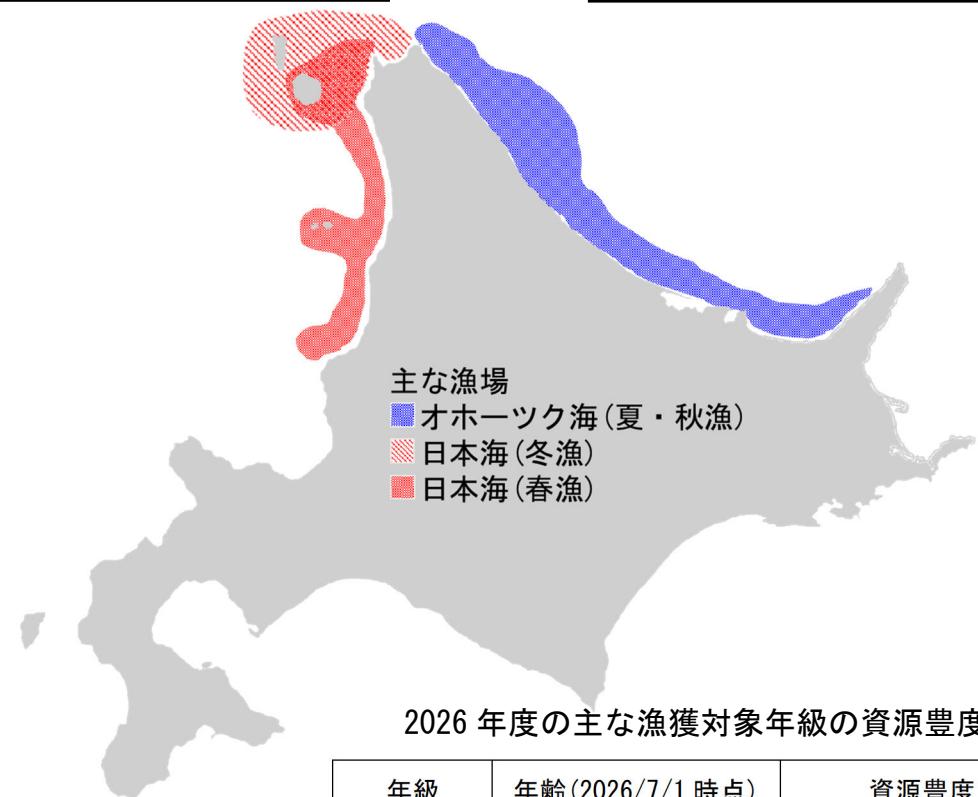
漁獲量は前年から**横ばい**

オホーツク海（秋漁）

2026 年 9～12 月

3～5 歳魚主体

漁獲量は前年から**横ばい**



2026 年度の主な漁獲対象年級の資源豊度

年級	年齢(2026/7/1 時点)	資源豊度
2023 年級	3 歳	非常に低い
2022 年級	4 歳	非常に低い
2021 年級	5 歳	普通
2020 年級	6 歳	非常に低い
2019 年級	7 歳	非常に低い

2026 年度（令和 8 年度）

マガレイの漁況予測

（道北日本海～オホーツク海）

令和 8 年（2026 年）2 月 12 日

（地独）北海道立総合研究機構

稚内水産試験場 Tel: 0162-32-7166

網走水産試験場 Tel: 0152-43-4591

（協力試験場：中央水産試験場）

はじめに

道北日本海～オホーツク海のマガレイは日本海を産卵場としています。日本海で生まれた魚の一部は日本海に留まって生活しますが、多くは卵～仔魚期にオホーツク海へ輸送されます。オホーツク海で未成魚期の 2～3 年間を過ごした個体は、成熟の進行に伴って産卵のためにふたたび日本海へ戻ります。漁況の予測は、漁獲対象の特性に合わせて、以下の 4 つの漁業区分に分けて行っています。

予測対象漁業	海域	主漁期	主漁獲対象
日本海春漁	増毛以北日本海	*3～6 月	3～6 歳の産卵親魚
オホーツク海夏漁	オホーツク海	5～8 月	4～5 歳魚
オホーツク海秋漁	オホーツク海	9～12 月	3 歳の未成魚、4～5 歳魚
日本海冬漁	宗谷海峡 ～利尻・礼文島	10～翌 2 月	3～5 歳の産卵回遊群

*近年の漁獲状況を考慮して本予測から変更しました。

概況

マガレイの操業形態に合わせた漁期年度（7 月～翌 6 月）ごとの道北日本海からオホーツク海における漁獲量は、1995～2003 漁期年度には約 3,500 トンを記録する年もみられました（図 1）。その後、2008 漁期年度や 2012 漁期年度など一時的に増加する年もみられるものの、2021 漁期年度（948 トン）にかけて減少傾向を示していました。2022 漁期年度以降は再び増加傾向にあり、2024 漁期年度は 1,382 トン（暫定）でした。

沿岸漁業の区分別および沖合底曳網漁業の漁獲量をみると、いずれの漁業区分においても前漁期年度から増加し、日本海春漁で前漁期年度比 1.33、日本海冬漁で前漁期年度比 1.09、オホーツク海夏漁で前漁期年度比 1.05、オホーツク海秋漁で前漁期年度比 1.47 でした。

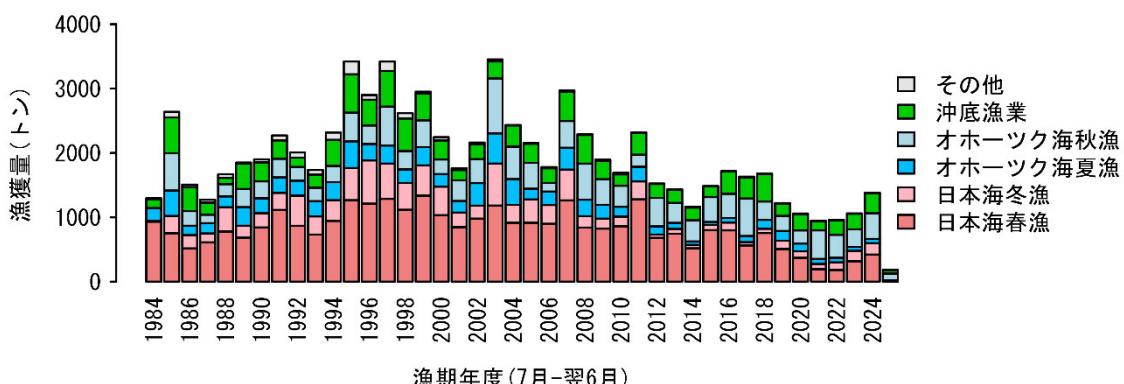


図1 マガレイ漁獲量の推移. ※漁業生産高報告 2025 漁期年度は 10 月末までの集計値

予測の方法

道北日本海～オホーツク海のマガレイの資源量は、VPA と呼ばれる計算手法を用いて漁期年度別・年齢別に推定されています（図 2）。

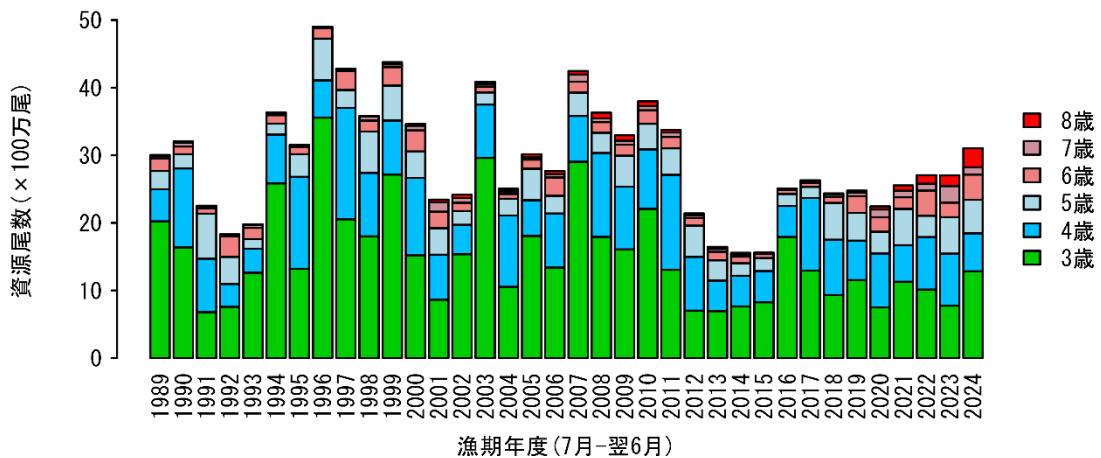


図 2 マガレイ（石狩湾以北日本海～オホーツク海海域）の年齢別資源尾数. 詳細は道
総研 HP <https://www.hro.or.jp/upload/55333/StockAssessment2025.pdf>

また、毎年夏に雄武町沿岸で小型桁網による調査を行い、1歳魚の採集状況から「加入量指数」を算出しています（図 3）。この指標が高い年級は VPA から推定された若齢時の資源量も多く、漁獲対象年齢になると多く漁獲されます（図 4）。

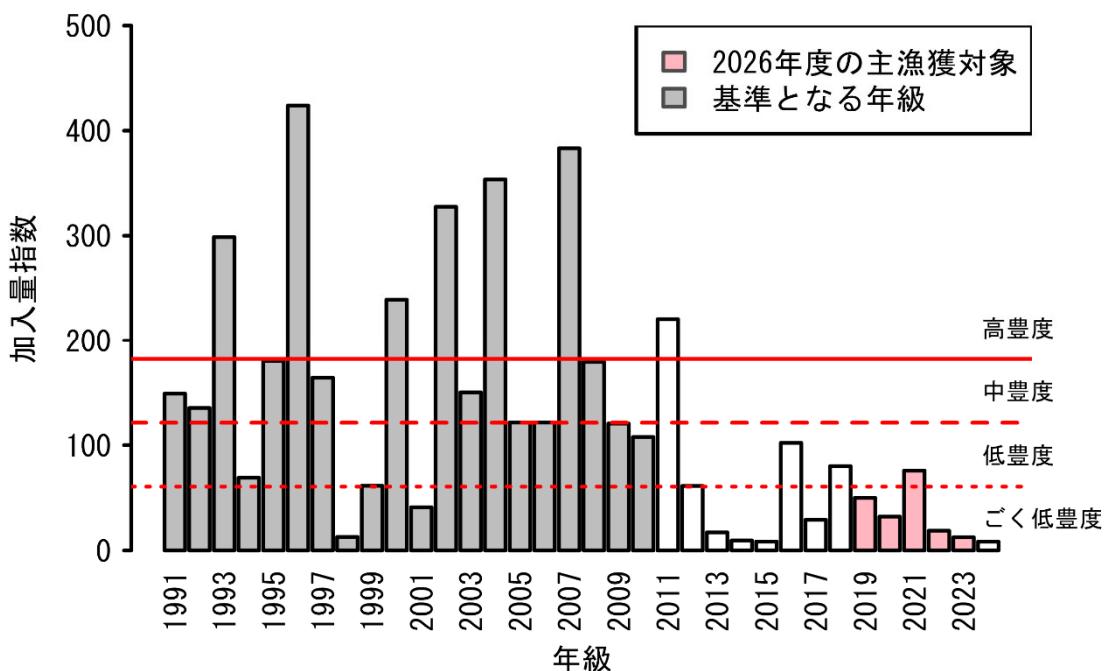


図 3 雄武沖調査で得られたマガレイの各年級1歳時の加入量指数. 図中赤線は
1991～2010 年級の平均加入量指数（赤色実線）をもとにした水準区分を表す

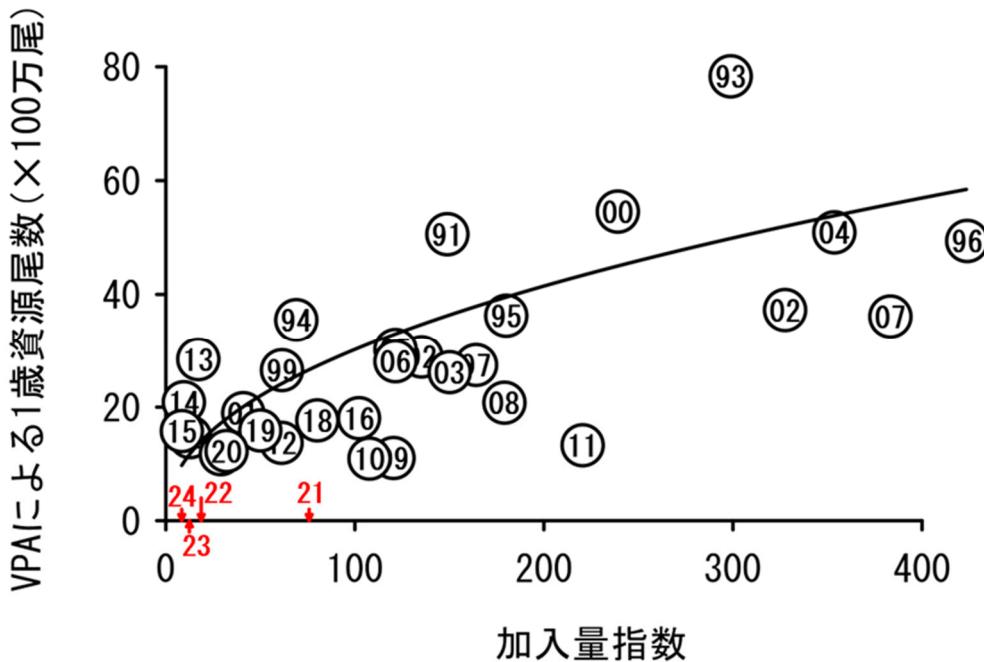


図4 加入量指数とVPAによる1歳資源尾数の関係. 図中の数字は年級を表し, 図中黒線は1991~2010年級から推定した関係式, 赤色矢印は2021年級以降の加入量指数を表す

資源豊度

上記の解析・調査結果から、予測対象漁業において漁獲対象となる年級の資源豊度を総合的に判断すると以下のようになります。

年級	年齢 (2026/7/1 時点)	加入量指数	漁獲加入後の資源量	資源豊度
2023年級	3歳	ごく低豊度	-	非常に低い
2022年級	4歳	ごく低豊度	少ない	非常に低い
2021年級	5歳	低豊度	中程度	普通
2020年級	6歳	ごく低豊度	少ない	非常に低い
2019年級	7歳	ごく低豊度	少ない	非常に低い

これらの情報をもとに、2026年度の漁況を予測対象漁業ごとに予測します。

道北日本海海域の予測

2026 年度の予測
春漁 漁獲量は横ばい
冬漁 漁獲量は横ばい

● 春漁 (2026 年 3~6 月)

産卵親魚 (3~6 歳魚) が主な漁獲対象となります。4 歳魚以上 (加齢前のため 2021~2019 年級) の資源豊度は前年同時期と比べて多いと推定されますが、3 歳魚 (加齢前のため 2022 年級) の資源豊度が非常に低いと判断されることから、漁獲量は前年同時期から横ばいと予測されます。

● 冬漁 (2026 年 10 月~2027 年 2 月)

オホーツク海から日本海に産卵のため移動する群 (3~5 歳魚) が主な漁獲対象となります。5 歳魚 (2021 年級) の資源豊度は前年同時期と比べて多いと推定されますが、3、4 歳魚 (2023、2022 年級) の資源豊度は非常に低いと考えられることから、漁獲量は前年同時期から横ばいと予測されます。

オホーツク海海域の予測

2026 年度の予測
夏漁 漁獲量は横ばい
秋漁 漁獲量は横ばい

● 夏漁(2026 年 5~8 月)

近年は 4、5 歳魚が主体で漁獲される傾向があります。4 歳魚 (加齢前のため 2021 年級) の資源豊度は普通であり、5 歳魚 (加齢前のため 2020 年級) の資源豊度は非常に低いと判断されます。4、5 歳魚を合計した資源豊度は 2025 年度の夏漁と同程度と考えられることから、漁獲量は前年同時期から横ばいと予測されます。

● 秋漁(2026 年 9~12 月)

3~5 歳魚が多く漁獲されます。3、4 歳魚 (2023、2022 年級) の資源豊度は非常に低く、5 歳魚 (2021 年級) の資源豊度は普通と判断されます。3~5 歳魚を合計した資源豊度は 2025 年度の秋漁と同程度と考えられることから、漁獲量は前年同時期から横ばいと予測されます。